

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載

【部門区分】第 1 部門第 2 区分

【発行日】令和 3 年 8 月 5 日 (2021.8.5)

【公開番号】特開 2019-166182 (P2019-166182A)

【公開日】令和 1 年 10 月 3 日 (2019.10.3)

【年通号数】公開・登録公報 2019-040

【出願番号】特願 2018-57437 (P2018-57437)

【国際特許分類】

A 6 3 F 7/02 (2006.01)

【F I】

A 6 3 F 7/02 3 2 0

【手続補正書】

【提出日】令和 3 年 6 月 25 日 (2021.6.25)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

遊技者にとって有利な有利状態に制御可能な遊技機であって、
開閉可能な開閉体と、
前記開閉体の状態を検出する開閉検出手段と、
第 1 操作を検出可能な第 1 操作検出手段と、
第 2 操作を検出可能な第 2 操作検出手段と、
信号を入力可能であり、特定の入力ポートと、他の入力ポートと、を含む複数の入力ポ
ートを備える制御手段と、を備え、
前記開閉検出手段の検出信号と、前記第 1 操作検出手段の検出信号と、前記第 2 操作検
出手段の検出信号とは、前記複数の入力ポートのうち前記特定の入力ポートに入力され、
前記制御手段は、
前記開閉検出手段の検出信号と、前記第 1 操作検出手段の検出信号と、前記第 2 操作
検出手段の検出信号とが特定の入力状態であるときに設定値を設定可能な設定手段と、
設定されている設定値にもとづいて前記有利状態の制御を実行可能な遊技制御手段と
、を含み、
前記他の入力ポートに入力される信号についてはハイレベルであるときにオン状態であ
ると判定する信号の方が多く、前記特定の入力ポートに入力される信号についてはローレ
ベルであるときにオン状態であると判定する信号の方が多く、
前記制御手段は、制御基板を含み、
前記第 2 操作検出手段は、前記制御基板に設けられ、
前記開閉検出手段は、前記開閉体に設けられ、
前記制御基板において、前記第 2 操作検出手段の検出信号の伝送路と前記開閉検出手段
の検出信号の伝送路とが合流し、
前記制御手段は、前記第 1 操作検出手段の検出信号が入力されたことにもとづいて初期
化処理を行う初期化手段を含む
 ことを特徴とする遊技機。

【手続補正 2】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0 0 0 2

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0002】

設定操作にもとづいて複数段階の設定値のうちのいずれかの設定値に設定可能に構成され、設定されている設定値にもとづいて有利状態の制御を実行可能に構成されたパチンコ遊技機が提案されている。例えば、パチンコ遊技機の前枠を開放した状態で設定値の変更等の操作が可能であるパチンコ遊技機が提案されている（例えば特許文献1参照）。他方で、複数の入力ポートが設けられた制御手段（例えば、主基板）を備えたパチンコ遊技機が提案されている（例えば特許文献2参照）。

【手続補正3】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0003

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0003】

【特許文献1】特開2010-200902号公報

【特許文献2】特開2016-77349号公報

【手続補正4】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0004

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0004】

特許文献1に記載されたような遊技機に対して特許文献2に記載された技術を適用する場合、所定の信号を出力する部材を、該部材が設けられた位置に応じた入力ポートに接続することが想定されるが、複数の入力ポートに入力された信号を読み込む際に処理負担が大きくなるおそれがある。

【手続補正5】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0005

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0005】

この発明は、上記の実状に鑑みてなされたものであり、処理負担が増加することを抑制することができる遊技機を提供することを目的とする。

【手続補正6】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0006

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0006】

（A）上記目的を達成するため、本願発明に係る遊技機は、遊技者にとって有利な有利状態に制御可能な遊技機であって、開閉可能な開閉体と、前記開閉体の状態を検出する開閉検出手段と、第1操作を検出可能な第1操作検出手段と、第2操作を検出可能な第2操作検出手段と、信号を入力可能であり、特定の入力ポートと、他の入力ポートと、を含む複数の入力ポートを備える制御手段と、を備え、前記開閉検出手段の検出信号と、前記第1操作検出手段の検出信号と、前記第2操作検

出手段の検出信号とは、前記複数の入力ポートのうち前記特定の入力ポートに入力され、前記制御手段は、

前記開閉検出手段の検出信号と、前記第 1 操作検出手段の検出信号と、前記第 2 操作検出手段の検出信号とが特定の入力状態であるときに設定値を設定可能な設定手段と、設定されている設定値にもとづいて前記有利状態の制御を実行可能な遊技制御手段と、を含み、

前記他の入力ポートに入力される信号についてはハイレベルであるときにオン状態であると判定する信号の方が多く、前記特定の入力ポートに入力される信号についてはローレベルであるときにオン状態であると判定する信号の方が多く、

前記制御手段は、制御基板を含み、

前記第 2 操作検出手段は、前記制御基板に設けられ、

前記開閉検出手段は、前記開閉体に設けられ、

前記制御基板において、前記第 2 操作検出手段の検出信号の伝送路と前記開閉検出手段の検出信号の伝送路とが合流し、

前記制御手段は、前記第 1 操作検出手段の検出信号が入力されたことにもとづいて初期化処理を行う初期化手段を含む

ことを特徴とする。

この特徴によれば、処理負担が増加することを抑制することができる。

(1) さらに、他の態様に係る遊技機は、

遊技者にとって有利な有利状態（例えば大当り遊技状態）に制御可能な遊技機（例えばパチンコ遊技機 1 ）であって、

前記有利状態に制御されることを示唆する示唆演出（例えばリーチ演出）を実行可能な示唆演出実行手段（例えば演出制御用 CPU 120 ）と、

前記示唆演出に対応したタイトルを報知可能なタイトル報知手段（例えば演出制御用 CPU 120 ）と、を備え、

前記タイトル報知手段は、前記示唆演出の開始から所定期間経過したときに当該示唆演出に対応したタイトルを報知可能である（例えば図 9（D）、（F））。